

理事長代行を引き受けて

和歌山地域経済研究機構

理事長代行 竹 内 昭 浩

(和歌山大学経済学部教授)

世紀が改まってからはや3年が経ちました。しかし私たちはいまだに先行きの見えない不透明な中でもがいております。20世紀後半の日本社会を支えた様々なシステムはもはや今世紀を支える輝きも力も無くなっているようです。そしてそれに変わる新たなシステムの構築が叫ばれているにもかかわらず、その方向性が見えていたとも言えない状態です。和歌山の経済・社会もこのような波に飲み込まれ、県・市そして経済界の努力にもかかわらず、必ずしもよい方向に向かっているようには見えません。

そうしたなか、和歌山地域経済研究機構はこれまで地域活性化のための様々な研究を行ってまいりました。その間、研究機構の理事長である和歌山大学教授小田章氏は設立以来研究機構の牽引役とし、その発展に貢献してこられました。一昨年4月には和歌山大学副学長に就任され、さらに昨年8月に同学長に就任されました。そのため、当然のことながら大学での職務が多忙を極め、本機構でこれまで通りの活躍をお願いできないことになってまいりました。しかし、小田理事長の存在なくしてこの機構の発展を考えることも難しく、やむを得ず私、和歌山大学経済学部・竹内が理事長代行として小田理事長をサポートさせていただくことになりました。なにぶんこのようなことには不慣れではありますが、本機構のさらなる飛躍に精一杯努力させていただきたいと思っております。会員の皆様はじめ、多くの方々のご協力のほどよろしくお願いいたします。

和歌山地域経済研究機構も設立から7年目を迎えました。上述のように本機構はこれまで地域活性化のための研究を行ってまいりましたが、今後は地域社会との関係をより密接なものとしつつ、さらに具体的な施策の展開を行い、地域社会の活性化に少しでもお役に立つことが出来ればと考えております。今後とも本機構へのご支援、よろしくお願いいたします。